JR総連

http://www.jr-souren.com

2022年
7月15日
第288号

発行所
全日本鉄道労働組合総連合会
〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13
03(3491)7191 FAX 03(3491)7192
e-mail jr-souren@hkg.odn.ne.jp
発行人 山口浩治 編集人 伊藤俊也

毎月15日発行 定価1部70円(組合員の購読料は組合費に含む) 本紙は再生紙を使用しています。

第26回参議院議員選挙 推薦・応援候補結果一覧

7月10日に投開票がおこなわれた第26回参議院議員選挙では、JR総連として推薦・応援決定した19名の候補者の中10名が当選を果たしました。みなさまのご支援に感謝いたします!

JR総連は、これからもJR総連推薦議員懇談会のみなさまと共に、憲法9条を守りぬき、組合員が安心・安全で暮らせる社会の実現と、地方ローカル線存続・活性化にむけた課題などの政策の実現にむけて奮闘してまいります!

比例代表選挙(JR総連応援候補者)

鬼木 まこと　立憲民主党(新)　**当選!**

選挙区選挙(JR総連推薦候補者)

選挙区	氏名・政党		結果	選挙区	氏名・政党		結果
北海道		徳永　エリ 立憲民主党(現)	当選	北海道		石川　ともひろ 立憲民主党(新)	惜敗
青森県		田名部　まさよ 立憲民主党(現)	当選	岩手県		木戸口　えいじ 立憲民主党(現)	惜敗
秋田県		佐々　ゆりこ 無所属(新)	惜敗	宮城県		小畑　きみ子 立憲民主党(新)	惜敗
山形県		舟山　やすえ 国民民主党(現)	当選	福島県		小野寺　あきこ 無所属(新)	惜敗
茨城県		堂込　まきこ 無所属(新)	当選	栃木県		板倉　みやこ 立憲民主党(新)	惜敗
埼玉県		高木　まり 立憲民主党(新)	当選	千葉県		小西　ひろゆき 立憲民主党(現)	当選
神奈川県		寺崎　ゆうすけ 立憲民主党(新)	惜敗	新潟県		森　ゆうこ 立憲民主党(現)	惜敗
長野県		杉尾　ひでや 立憲民主党(現)	当選	愛知県		斉藤　よしたか 立憲民主党(現)	当選
岡山県		黒田　すすむ 無所属(新)	惜敗	広島県		三上　えり 無所属(新)	当選

第26回参議院議員選挙結果を受けての見解

2022年7月10日に投開票された第26回参議院議員選挙は、与党が69議席から76議席と大幅に議席を増やし、改選過半数を獲得した。加えて改憲勢力は、憲法改正発議ができる3分の2以上を大きく上回る結果となった。

私たちＪＲ総連は、第26回参議院議員選挙を憲法改悪阻止のたたかいと位置づけ、19名の候補者の推薦･応援を決定し、全員の当選をめざして選挙戦をたたかった。

各単組、地協、労連の仲間たちは、職場･地域において最後まで全力でたたかい抜いてきた。その結果、比例代表で鬼木まこと氏、選挙区では9名の当選を果たすことができた。全国で奮闘していただいた組合員の皆さんに感謝を申し上げる。

立憲民主党と国民民主党は議席を大きく減らした。直近2回の参議院議員選挙では全32選挙区で候補者を一本化したが、今回は11選挙区にとどまった。改憲勢力に対する野党の足並みが揃わず、残りの21選挙区で野党が競合するかたちとなった。さらに、投票率も52.05％という過去4番目の低さとなり、議席数を大幅に減らす一因となった。

このような事態を招いた責任は労働組合の側にもある。連合は共産党などを念頭に「目的や基本政策が大きく異なる政党と連携･協力する候補者は推薦しない」と表明し、野党共闘に水を差した。さらに、連合芳野会長が自民党の麻生副総裁らとの会食に応じたり、自民党本部で講演をおこなうなど、「自民シフト」との懸念を連合内外に広げたことは、今後の連合運動そのものの質にかかわる問題である。

ＪＲ総連は、これからも各単組と連携し、ＪＲ総連運動の強化を通じて、連合内産別との連帯･共闘の構築のために奮闘していく決意である。

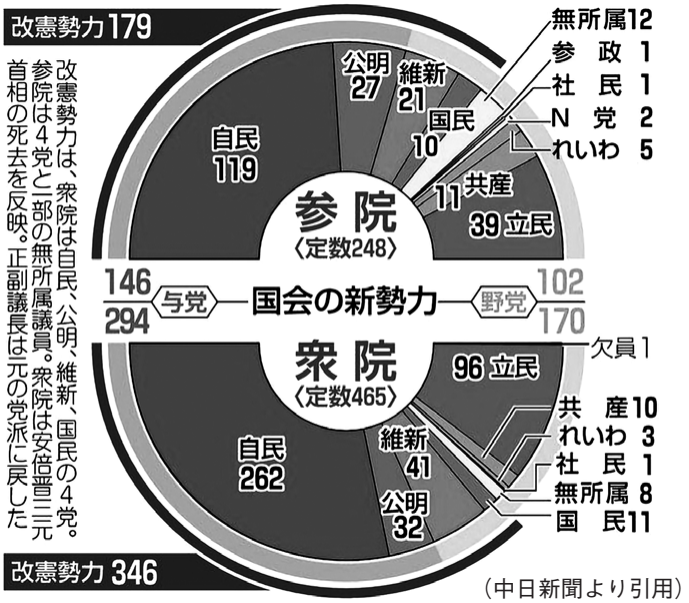
参議院議員選挙の最中、安倍元首相が銃撃され亡くなるという事件が起きた。安倍元首相はこれまで憲法改正を悲願とし、ロシアのウクライナ侵攻･侵略を契機に「核共有」論を持ち出し、日本の軍備増強を求め「戦争のできる国づくり」を推し進めてきた。ＪＲ総連はその主張には反対である。しかし、いかなる理由があろうとも、銃弾で人の命を奪う行為や言論を封殺する行為は断じて許されない。

ＪＲ総連はいなかるテロにも戦争にも反対の立場で、「抵抗とヒューマニズム」を基底に、平和･人権･民主主義を守るために、引き続き全力でたたかっていく。

選挙結果を受けて岸田首相は、「できるだけ早く発議にいたる取り組みを進めていく」と述べ、憲法改正に意欲を示している。一部マスコミも安倍元首相の遺志を受け継ぐ必要性を訴え、憲法改正と軍備増強に向けた世論喚起をおこなうなど、今後は改憲勢力を中心に日本全体が憲法改正の流れに組み込まれていくことが危惧される。

私たちＪＲ総連は、この「日本の転換点」において、憲法改悪に向けた国民投票を見据え、9条連の仲間との連帯･共闘を強化し、ＪＲ総連推薦議員懇談会所属の国会議員との連携をさらに強め、憲法改悪を阻止するたたかいの裾野を広げていこうではないか。そして、この参議院議員選挙で培った組織力を来年の統一地方選挙のたたかいにつなげていくことを訴え、ＪＲ総連としての第26回参議院議員選挙を終えての見解とする。

憲法改悪阻止へ！国民投票を見据えて取り組もう！



（中日新聞より引用）

憲法改正の手続きは、衆院100人以上または参院50人以上の賛成で、改正原案を国会に提出することから始まります。改正原案について、衆参両院の憲法審査会で審査した後、衆参それぞれの「本会議で3分の2以上の賛成」で可決すれば発議となります。次に国民に対して広報や周知を経て、発議から60日以後180日以内に実施する国民投票で、「有効投票数の過半数の賛成」で憲法は改正されます。

左の表にあるように、既に衆参両院で改憲勢力は3分の2以上を占めています。憲法改悪阻止のためには、国民投票で「有効投票数の過半数の反対」を示めさなくてはなりません。具体的には、有効投票数の過半数が、投票用紙の「反対に○」を付けなければなりません。

ＪＲ総連は、憲法改悪を阻止するため、国民投票を見据えて、9条連の仲間と共に連帯･共闘し運動をつくり出していきます。

2022年度夏季手当・一時金 各単組結果

２０２２年夏季手当・一時金交渉は、加盟全単組が妥結しました。

ＪＲ北海道労組は、常駐や職場集会、各地本大会における議論を通じ、組合員・家族の怒り、生活実感を最大限集約し、交渉を積み上げた結果、「１．６カ月」の回答を引き出し妥結しました。

ＪＲ東労組は、組合員の声を受けて、緊急申し入れをおこない、中央本部に届いた７，４００件以上の組合員や離脱者、未加入者から届いた切実な思いを会社に訴えてきました。その結果、会社から組合員の声を受け止める姿勢を引き出したことから、「２．３カ月」で妥結しました。

ＪＲ東海労とＪＲ西労は、春闘時に夏季手当について妥結をしています。

ＪＲ貨物労組は、会社の「昨年の冬の水準を確保したい」との姿勢に対し、慢性化している要員不足の中、日々組合員は安全・安定輸送の確保のために努力している現実を訴え、再考を強く求めてきました。その結果、会社から「１．７２カ月」の回答と、組合員のこれまでの努力を受け止める姿勢が示されたことから、妥結しました。

鉄研労は、新型コロナ感染症拡大防止のために、環境が整わない中での在宅勤務など、日々業務に奮闘する組合員の思いを訴え、粘り強く交渉を重ねてきました。その結果、夏季手当「２．１カ月＋６，０００円」で妥結しました（６，０００円については新型コロナ感染症予防の在宅勤務等への加算分）。

システム労はこの間、組合員アンケートに寄せられた声をもとに、会社と交渉を重ねてきました。システム労は要求に対して、回答は満額ではないものの、会社が春闘交渉から継続して、組合員の思いに応える姿勢を確認したことから、「２．７カ月」で妥結しました。

聚楽労組は、観光・宿泊業界全体がコロナ禍による影響を大きく受ける中、組合員の雇用と生活を守るために、労使で力を合わせて取り組んできました。交渉においては、この間の組合員の努力に応えること、さらには相次ぐ物価上昇など、組合員を取り巻く環境の厳しさを訴え、粘り強く交渉を重ねた結果、昨年の夏季・年末一時金を大きく上回る「一律３５，０００円」で妥結しました。

加盟単組	要　　求	妥結日	回　　答
ＪＲ北海道労組	2.8 カ月	6 月 21 日	1.6 カ月
ＪＲ東労組	3.0 カ月 +5 万円	6 月 10 日	2.3 カ月
ＪＲ東海労	3.5 カ月	4 月　1 日	2.2 カ月
ＪＲ西労	3.5 カ月	4 月　5 日	1.34 カ月 +5 万円
ＪＲ貨物労組	2.9 カ月	6 月 17 日	1.72 カ月
鉄研労	3.25 カ月	6 月 10 日	2.1 カ月 +6 千円
システム労	3.3 カ月	6 月　9 日	2.7 カ月
聚楽労組	1.0 カ月	7 月　4 日	一律 3 万 5 千円

ウクライナ避難民支援カンパ報告

「3,016,031円」を集約！ご協力に感謝申し上げます！

みなさまから頂きました「ウクライナ避難民支援カンパ」については、ポーランドで避難民支援活動をおこなっているボランティア団体「ヒューマン」にお渡しし、支援活動の内容については、後日ご報告します。また、支援活動をおこなっている現地へ、代表団の派遣を検討しています！

ＪＲ総連は、引き続きロシア軍のウクライナからの即時撤退を求めると共に、９条連をはじめとして平和を希求する仲間と連帯していきます！

連合 2022平和行動in沖縄

連合の2022平和行動in沖縄が、沖縄「慰霊の日」の6月23日から24日にかけて開催され、JR総連も参加をしてきました。

6月23日には、那覇市の「はなーと」にて「2022平和オキナワ集会」が開催され、第一部として法政大学法学部政治学科の明田川融教授より「沖縄の施政権返還50年と日米地位協定」をテーマに、基調講演を受けました。

講演では、日米行政協定より始まった日米地位協定の歴史的経緯に関する説明の後に、日米地位協定の問題点として、①全土基地方式、②排他的管理権、③区域外演習、④検疫、⑤国内法の不適用、⑥日本側の一次裁判権放棄密約、⑦米兵等被疑者の身柄引き渡し、⑧日米合同委員会の8点について、それぞれ事例も含めて詳細な説明がされました。また、駐留米軍をもつ他国との比較についても紹介され、日米地位協定がいかに不平等な協定であるのかということが分かりやすく説明され、今後に向けた取り組みとして、在日米軍基地問題を抱える地域間で、横の連携や情報共有を進めることが重要との指摘がされました。

第二部の「平和式典」では、冒頭、沖縄戦で亡くなられた御霊と世界中で起きている戦争や紛争で尊い命を落とされた方々のご冥福をお祈りし、参加者全員で黙祷をおこないました。

芳野会長は挨拶で「参議院選挙が公示され、全国各地から応援演説の要請を受けているが、今日のこの集会を優先した。平和で安心な社会の実現は、私たちが暮らし、働く上で絶対に欠かすことができない」「在日米軍基地や日米地位協定は、沖縄だけの問題ではなく、日本全体の問題である。連合はこれからも『在日米軍基地の整理・縮小』と『日米地位協定の抜本的見直し』を掲げ、運動を続けていく」などを述べました。

その後、連合沖縄東盛政行会長、沖縄県玉城デニー知事よりあいさつを受け、連合沖縄・東盛会長から連合広島・大野真人会長へと平和の旗が手渡され、連合広島・大野会長より平和運動に向けての決意が述べられました。

最後に、平和アピールを満場一致で採択し、集会は終了しました。

翌24日は、ピースフィールドワークが開催され、連合2022平和行動in沖縄は終了しました。

あなたと家族に安心届けます。保険はおまかせください。

各種のお問い合わせは、パソコン・スマホ、から可能ですので、ご利用をお待ちしております。

JR総連・各単組賛助団体

㈱鉄道ファミリー　検索

《取扱商品》

- 自動車保険・火災保険 サークル保険
- がん保険・医療保険・介護保険 給与サポート保険
- JR積立年金
- すみっこ商店・伊東さつき会館

〒141-0031
東京都品川区西五反田3-2-13 目黒さつきビル
TEL 03-3490-3862　FAX 03-3491-7198